

	<p style="text-align: center;">練馬区が「ファミマと、コンビに、」になりました！ ~(株)ファミリーマートと災害時の物資供給と 平常時の防犯体制の強化に関する協定を締結~</p>
<p>と き</p>	<p>3月9日(木)</p>
<p>と ころ</p>	<p>協定締結式：練馬区役所(豊玉北6-12-1)</p>
<p>9日、練馬区は、株式会社ファミリーマート(社長：澤田貴司 本社：東京都豊島区)と「災害時における応急物資の供給および安全・安心パトロールカーの運用等に関する協定」を締結した。</p> <p>災害時に、区の要請に基づきファミリーマートから、食料品や飲料水、日用品等が区の物流拠点に届けられる。</p> <p>また、平常時においても、両者は連携して、地域の防犯体制の強化を図る。区の安全・安心パトロールカーが店舗に立ち寄り声掛けを行うとともに、店舗を「ひまわり110番」(児童・生徒が不審者等から身を守る地域における緊急避難所)として指定する。</p> <p>なお、ファミリーマートと平常時の安全・安心に関する協定を締結するのは、全国の区市町村では初となる。</p> <div data-bbox="1002 562 1465 891" style="float: right; text-align: center;">  <p>災害時における応急物資の供給および安全・安心パトロールカーの運用等に関する協定締結式</p> </div> <p>【締結の様子(右)黒田叔孝練馬区副区長(左)加藤利夫取締役専務執行役員】</p>	

【協定の内容】

(1) 災害時の応急物資の供給

地震等の災害時、食料や日用品等が不足した場合、区の物流拠点(2か所)に速やかに物資の供給を受ける。

各店舗が営業継続・早期再開するために、運搬に使用する車両が優先的に通行できるようにする。

ファミリーマートは、昨年の熊本地震でも、おむすび約2万個、パン約6万個、飲料水等約12万本をいち早く被災地に届ける支援を実施した。

(2) 平常時の防犯体制の強化

安全・安心パトロールカーによる店舗巡回(51店舗 1)

地域の安全を確保するため、区では24時間365日、専用車両(安全・安心パトロールカー)によるパトロールを実施している。店舗に立ち寄り、「何かありましたか」といった声掛けを行い、地域情報の共有を図る。(1駐車場が確保できる店舗数)

ひまわり110番への指定(79店舗)

区では、児童・生徒が犯罪被害にあわないように、犯罪に巻き込まれそうになった時に助けを求め、安全を確保できる場所として、「ひまわり110番」の設置を推進している。

学校、PTA、町会、自治会や防犯協会などと連携し、区立施設・小売店・個人宅に設置が進んでいる。児童・生徒になじみがあるコンビニエンスストアの協力が得られることで、子供の安全確保が強化される。

【参考】ファミリーマート店舗数について

区内店舗数：115店舗(サークルK・サンクス含む、平成29年2月末現在)

区内に展開しているコンビニエンスストアチェーンでは最大の店舗数

【問合せ】

災害時における応急物資の供給について：練馬区防災計画課 防災計画係 ☎03-5984-1327

安全安心パトロール・ひまわり110番について：練馬区危機管理課 安全安心係 ☎03-5984-1027